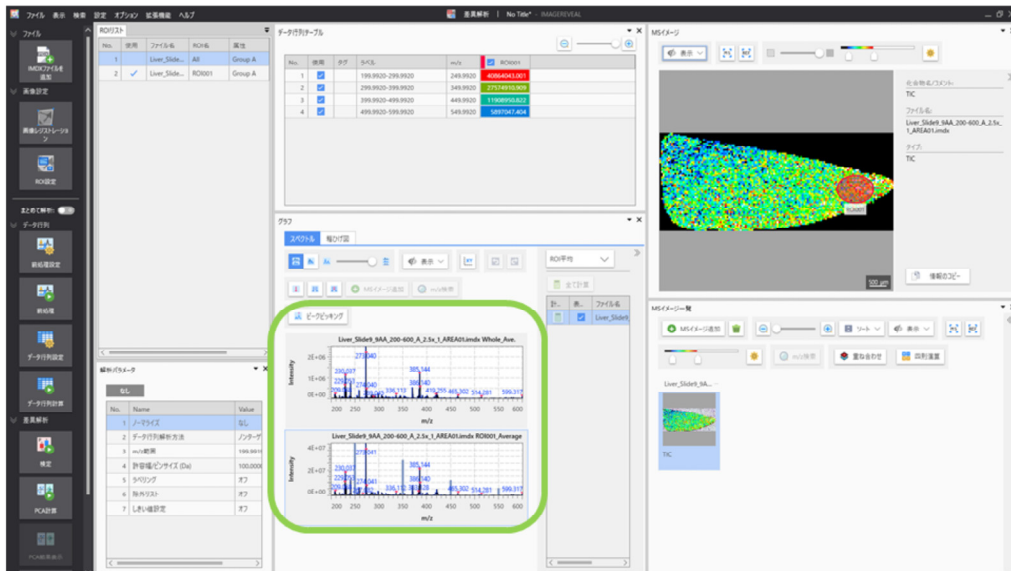


# スペクトルの縦軸の数値が おかしいと思われるとき

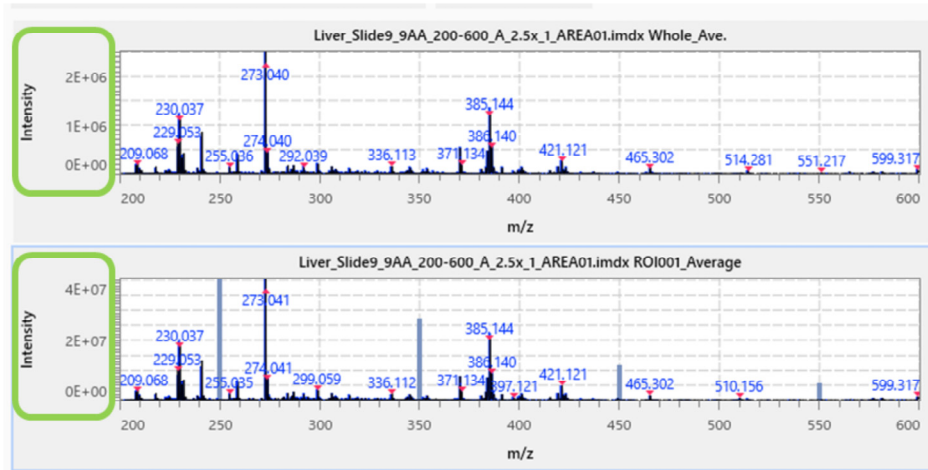
縦軸の値は"データ行列テーブル"

# 課題：スペクトルの縦軸が変だと感じる



# 縦軸の数字が桁で異なる

データ全体の  
平均スペクトル

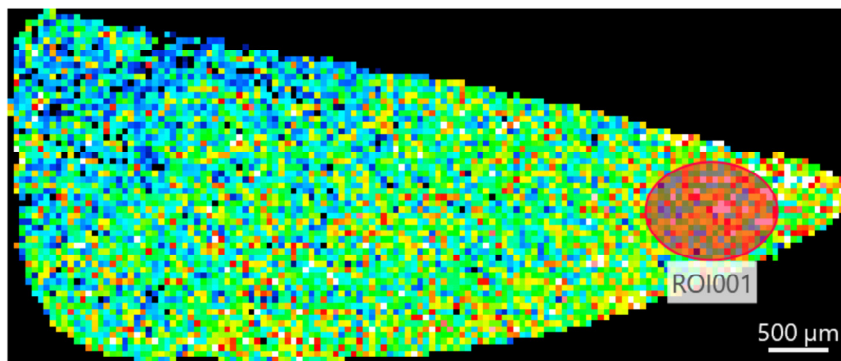


ROI1の  
平均スペクトル

ROI1の平均スペクトルの数値がやけに大きい

ROI1の平均スペクトルがやけに大きい

画像を確認してもそれほど差はなさそう



## 理由：スペクトルグラフの説明

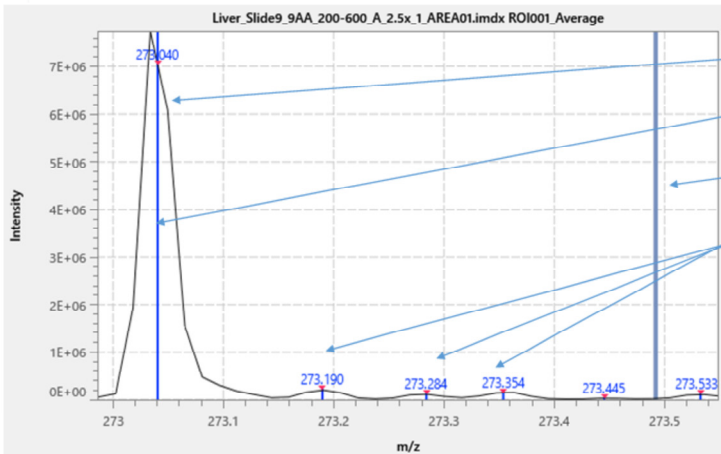


スペクトルグラフの中にはいろいろなグラフが描写されています。

スペクトルグラフの中にはいろいろなグラフが描写されています。

- プロファイル
- セントロイド
- データ行列
- ピークラベル
- 凡例（重ね合わせの場合）

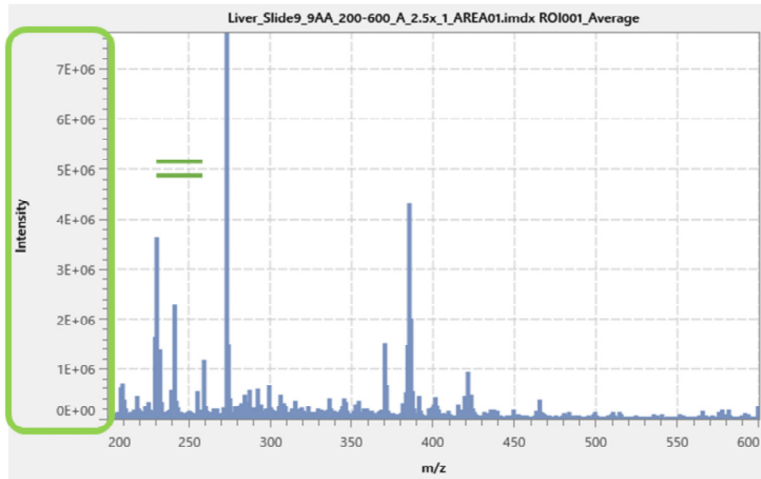
## 各グラフ



- プロファイル：黒い折れ線  
スペクトル
- セントロイド：青い棒線  
ピークを中心
- データ行列：薄い青の太い棒線  
データ処理用計算された値
- ピークラベル：青い数字  
ピークのm/z値

- プロファイル：黒い折れ線  
スペクトル
- セントロイド：青い棒線  
ピークを中心
- データ行列：薄い青の太い棒線  
データ処理用計算された値
- ピークラベル：青い数字  
ピークのm/z値

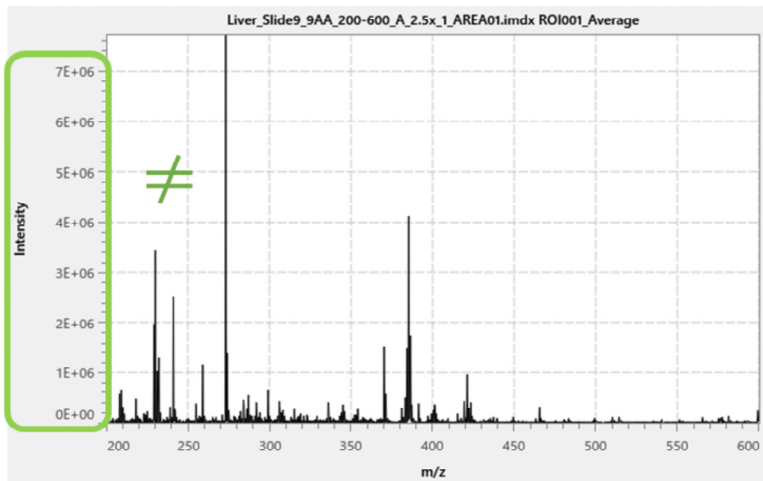
スペクトルグラフの縦軸は”データ行列”  
に合わせてあります。



縦軸で読めるのは“データ行列”  
の数値です。

縦軸で読めるのは“データ行列”の数値です。

このグラフからは、プロフィールやセントロイドの強度は読めません。



最大強度の点が合うように伸縮されています。

数値が必要な場合は

- ・スペクトル上で右クリック
  - ・[テキスト形式でエクスポート]
- を選択してください。

このグラフからは、プロフィールやセントロイドの強度は読めません。  
最大強度の点が合うように伸縮されています。

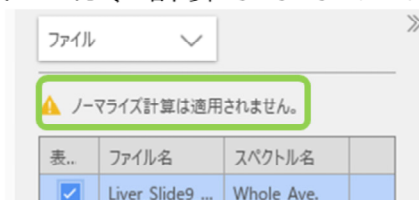
数値が必要な場合は

- ・スペクトル上で右クリック
  - ・[テキスト形式でエクスポート]
- を選択してください。



## 注意

- “ファイル平均”のスペクトルは、計算がかかってない状態で表示されます。



- その他のスペクトルは、データ行列設定、ノーマライズ設定により計算されたデータ行列の数値が縦軸に用いられます。

参考：

[ピークラベル] を非表示にすると、スペクトルの拡大縮小が速くなります。